

# 令和4年度事業報告

## ○ はじめに

令和4年度にあつては、新型コロナウイルスの脅威のみならず、ウクライナ情勢等により、世界的に大きな混迷や不安感に満ちた1年でありましたが、県警察においては警察本部長陣頭指揮の下、部門間の垣根を越え組織を挙げて、“日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現”をスローガンに、県民の理解と協力そして参加を得て、官民一体となった諸対策を積極的且つ継続的に推進されました。

県内の犯罪情勢については、減少傾向であった犯罪の認知件数が、若干ではあるが増加となり、転換期を迎えた年となりました。

また、子供や女性を対象とした犯罪が後を絶たず、サイバー空間をめぐる脅威も深刻化しているほか、高齢者を狙った特殊詐欺の被害が大幅に増加しています。

当協会及び各地区防犯協議会においては、コロナ禍の中でも活動を徐々に再開し感染拡大防止に配慮しつつ、工夫を凝らした活動を続け、県警察、関係機関、職域団体及び防犯ボランティア団体等との連携を一層密にして、あいさつ・声かけ・鍵かけ運動「チャレンジ“絆”」をはじめとする地域主体の、地域ぐるみによる自主防犯活動に取り組むなど、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会づくりに向けた各種事業を推し進めてきました。

令和4年度の主要事業は、次のとおりでありました。

## 第1 防犯広報啓発普及事業

### 1 ホームページ等の積極活用

当協会のホームページに、警察本部配信に係る犯罪情報「やまとの安全」や自主防犯ボランティア団体ニュース（活動事例紹介）、防犯グッズ推奨紹介等を掲載して、防犯広報啓発普及に努めた。

### 2 機関紙「防犯なら」の発行

機関紙「防犯なら」を季刊発行（4月・7月・10月・1月～各10,500部）し、広く県民に当協会が実施したイベントや各地区防犯協議会の活動紹介、県警察提供に係る犯罪情勢やその被害防止対策、各種防犯機器の紹介、及び防犯モデルマンション登録状況等をタイムリーに知らせる広報啓発普及活動に取り組んだ。

### 3 防犯講習用教材資料の配分

多発する犯罪の手口やその防止対策等を取りまとめた「防犯ハンドブック小冊子」20,000部のほか「特殊詐欺被害防止チラシ」2,500部、「サイバー犯罪の被害防止対策啓発冊子」2,500部、「おぼけとお約束～ネットの安全ルール」1,000部を各地区防犯協議会等に配分した。

#### 4 全国地域安全運動の推進

##### (1) ポスター、標語、青パト写真の募集

令和4年度全国地域安全運動の気運の高揚を図るため、ポスター、標語等の募集を行ったところ、ポスター31点、標語122点、青パト写真11点の応募があり、全国防犯協会連合会に送付するとともに、応募者全員に参加賞（ロングタイプふせんセット等）を贈呈し、地域安全活動への協力を呼びかけた。

##### (2) マスメディアによる啓発

新聞各紙に犯罪被害防止に向けた啓発文を延べ3回掲載し、自主防犯活動の普及に努めた。

##### (3) 広報資料等の配分

「特殊詐欺・悪質商法の被害防止」を内容とする集合ポスター300枚、同リーフレット8,000枚、ポケットティッシュ「みんなでつくろう安全・安心のまち」50,000個及び啓発用ボールペン3,000本を各地区防犯協議会に配分し、全国地域安全運動の気運の高揚を図った。

##### (4) 全国地域安全運動「奈良県民大会」の開催

10月7日（金）、「いかるがホール」において、主催者として副知事、警察本部長、県教育長、県防犯協会会長が、来賓として県議会議長、県公安委員長等出席の下、約400名の県民が参加して、「令和4年度全国地域安全運動奈良県民大会」を3年ぶりに開催した。

第一部は、防犯功労団体（者）表彰、第二部では、東京未来大学こども心理学部長・教授 出口保行氏による基調講演「攻める防犯！」が行われ、その後、大学生ボランティアによる「特殊詐欺被害防止」をテーマに防犯寸劇が演じられ大会を盛り上げた。

#### 5 犯罪の発生実態を踏まえた防犯広報

##### (1) 「空き巣」等被害の防止対策（あいさつ・声かけ・鍵かけ運動「チャレンジ“絆”」）の積極推進

県下で断続的に発生する「空き巣等住宅対象侵入窃盗」の被害を未然に防止するとともに、地域の防犯力を高めることを目的として、「チャレンジ“絆”声かけ・鍵かけ運動実施中 ～向こう三軒 両隣 裏隣～ 空き巣に注意！！」の啓発シート10,000枚、同内容の啓発のぼり旗1,500本を作製し、各地区防犯協議会に配分して、空き巣等の犯罪が起きにくい地域社会づくりに向けた“あいさつ・声かけ・鍵かけ運動”を、地域ぐるみで推進しようとの呼びかけを行った。

なお、同運動には令和4年12月末現在、県下の757地区189,524世帯が参加している。

##### (2) 「特殊詐欺」被害の防止対策

様々な世情に乗じた特殊詐欺の発生を防止すべく、各地区防犯協議会等へ貸し出している、防犯講習用防犯電話機を活用した広報等により、防犯電話機の設置拡充を図った。

また、高齢者等を狙った特殊詐欺の被害状況を踏まえ、同種被害の未然防止を

図るべく、被害防止のためのキーワードを記載した「特殊詐欺防止啓発用電話機用POP」10,000個、警察署長の写真入り特殊詐欺防止用チラシ12,000枚、「特殊詐欺被害防止 決まり手10」2,500部を作製するなどして、それぞれ各地区防犯協議会等に配分して広報啓発に努めた。

さらに、県下の不審電話多発地域を対象に、「特殊詐欺に用心！」の限定版チラシを新聞折り込みとして11万世帯に配布し、具体的な被害要望方法を広報啓発した。

### (3) 「その他多発犯罪」被害の防止対策

身近で発生する犯罪情報を、広く県民に周知する手立てとしてシステム化された県警察の「ナポくんメール」の利用促進を図るため、ナポくんメールの登録を呼び掛けるチラシ40,000枚を作製し、各地区防犯協議会等に配分するとともに、子供の安全を図るための啓発物品（啓発用バック、「いかのおすし」ハンカチ、ライト付き防犯ブザー等）各100セットを作製し、各地区防犯協議会等へ配分するなどして、被害防止に努めた。

また、サイバーセキュリティ対策として、県警察等と連携し、サイバー犯罪の手口、防止対策について周知を図るため奈良県出身のプロ野球選手を起用した「サイバーセキュリティ対策ポスター（大・中）」を各200部作製するとともに、啓発用リーフレット等を配布して、被害防止を呼びかけた。

## 6 年末年始の防犯広報

年末年始の慌ただしい時期に多発傾向にある金融機関対象強盗事件や、少年非行及び悪質商法等の被害防止を目的に、各新聞に広告文を延べ2回掲載して広報啓発に努めるとともに、防犯カレンダー「～みんなでつくろう安心の街～2023」546部を作製して各地区防犯協議会等に配分した。

## 7 高齢者被害防止広報

前記「特殊詐欺の被害防止対策」を鋭意推進したほか、高齢者に特殊詐欺被害防止の注意喚起を図る電話機用POP、ポケットティッシュ等を配付して、高齢者に絞った広報啓発に努めた。

## 8 防犯グッズの推奨

防犯器材販売会社等の申請に基づき、

- ① 不審者捕獲用網飛び出し器「ネットランチャー」
- ② 特殊詐欺対策電話アダプター「Photoplus(フォトプラス)」
- ③ 特殊詐欺被害ゼロを目指す「ファクシミリ/コードレス電話機」
- ④ 携帯電話の電波を検知して、ATMの取引をストップする「センサー」
- ⑤ トラック等の「バッテリー盗難防止用ナットカバー」

の5品目を当協会推奨品として、ホームページに掲載した。

## 第2 少年の非行防止・健全育成事業

### 1 青少年の非行・被害防止運動（7～8月）の実施

(1) 広報資料等の配分

夏休み期間中、子供、女性、及び高齢者を対象に開催した「夏の防犯スクール」イベント会場において、啓発用バッグ100個、「いかのおすし」ハンカチ100個、防犯ブザー50個等の啓発品を配布して、子供、女性、及び高齢者の犯罪被害防止を呼びかけた。

(2) マスメディアによる啓発

新聞各紙へ、「青少年の非行・被害防止運動の実施について」の啓発文を延べ3回掲載し、県民各層への意識の高揚を図った。

(3) 少年健全育成奈良県カンファレンスの開催

7月3日(日)、「いかるがホール」において、県警察、県少年補導員協会連合会等共催による「少年健全育成奈良県カンファレンス」を開催した。

カンファレンスには、各署の少年補導員や関係機関から約300名が参加し、第一部では、県警担当者による少年補導に関する講習、第2部では、福岡県警察本部少年育成指導官の安永智美氏が基調講演(演題:「救えたはずの命と向き合う」)を行い、少年の健全育成に向けた意識の高揚を図った。

2 子供を犯罪の被害者にも加害者にもさせない活動の推進

(1) 「チーム『キッズポリス』オーディション」の開催

子どもを誘拐や連れ去り等の被害から守るための指導キーワードである“いかのおすし一人前”の更なる周知徹底を図ることを目的として、2月26日(日)「弥生の里ホール」において、第10期「チーム『キッズポリス』オーディション」を開催した。

オーディションの結果、4～7歳の幼児・児童128名が合格し、「チーム『キッズポリス』」に認定するとともに、成績の良かった9名に表彰状とトロフィー等を贈呈した。

また、参加者全員に記念品(いかのおすしクリアファイル)を贈呈した。

(2) “いかのおすし一人前”の啓発

子供を狙った卑劣きわまりない犯罪の絶無を図るため、警察本部少年課及び少年補導員協会と連携して、“いかのおすし一人前”を啓発する下敷き(リニューアル版)を作製し、県下の全新入学児童(約11,000名)に対し、市町村教育委員会等を通じて贈呈した。

なお、令和5年3月2日、大淀町役場会議室において、関係機関・団体の関係者出席のもと、贈呈式を実施し、マスコミ広報等による周知等を図った。

(3) 薬物乱用防止の広報啓発

大麻をはじめ薬物事犯で検挙される少年が後を絶たない状況から、警察本部少年課と連携して、県内のプロサッカーチーム「奈良クラブ」の選手を起用した、薬物乱用防止を呼びかけるポスター500枚及びクリアファイル1,000部を作製し、各地区防犯協議会へ配分した。

また、「奈良クラブ」の公式試合会場において複数回、ポスター等を活用した広報啓発活動を実施した。

(4) 「ながら見守り標」の贈呈等

登下校時の子供たちを見守ってもらう活動の「ながら見守り」を推進しており、7月11日、県立郡山高校において、同校生徒会の代表に対し、「ながら見守り標」を贈呈し、高校生による部活途中や登下校しながらの見守り活動を依頼した。

3 ボランティア団体総合補償保険の助成

少年補導等ボランティア活動中における万一の事故に備えるため、少年補導員等548名を対象とした総合補償保険の掛け金を全額助成した。

4 全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」作品募集

第31回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」に、316点の応募があったことから、全応募作品を全国少年警察ボランティア協会へ送付したほか、応募者全員に参加賞として啓発用ボールペンを贈呈した。

5 広報啓発用ポスターの配分

映画タイアップ防犯ポスター「シン・ウルトラマン」400枚を各地区防犯協議会に配分し、全世代での犯罪被害防止を広く呼びかけた。

6 「被害防止教室」用ぬいぐるみの貸与

児童、生徒を対象とした「被害防止教室」で使用する人体着用ぬいぐるみ5体（うさぎ・とら・ねずみ・男の子・女の子）を少年サポートセンターへ貸与し、同センターの活動を支援した。

### 第3 防犯ボランティア支援事業

1 大学生等防犯ボランティアの育成支援

奈良県大学生等防犯ボランティア団体「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい（105名）」、少年警察大学生ボランティア団体「少年フォローズ奈POLI（ナポリ）（54名）」、「奈良県警察サイバー防犯サポーター（20名）」のイベントや広報啓発活動等を支援し、次代のボランティアリーダーの育成を図った。

2 ミニ防犯講演会の開催

県下各地の自治会等からの要請に基づき、感染防止対策に万全を期したうえで、当協会職員による地域単位の「ミニ防犯講演会（防犯講座）」を延べ10回開催（参加者延べ240名）し、地域住民の防犯意識の高揚を図るとともに、防犯ボランティアの育成支援を図った。

3 ボランティア団体総合補償保険の助成

ボランティア活動中における万一の事故に備えるため、地域安全推進委員1,917名を対象とした総合補償保険の掛け金を一部助成した。

4 2023年版防犯手帳の配分

地域安全推進委員等に「2023年版防犯手帳」2,666冊を配分し、代金の一部を助成した。

## 第4 防犯功労者・功労団体表彰事業

- 1 全国防犯協会連合会表彰
  - (1) 防犯功労団体(警察庁長官・全防連会長連名表彰)
    - ・ 高田防犯協議会 地域安全推進委員高田支部
  - (2) 防犯功労ボランティア団体(全防連会長表彰)
    - ・ 樫原防犯協議会 地域安全推進委員下土佐支部
  - (3) 防犯栄誉金章(警察庁長官・全防連会長連名表彰)
    - ・ 井谷 兌 氏(宇陀市)
  - (4) 防犯栄誉銀章(警察庁長官・全防連会長連名表彰)
    - ・ 石原淑子 氏(天理市) 他 1名
  - (5) 防犯栄誉銅章(全防連会長表彰)
    - ・ 糸井康雄 氏(奈良市) 他 5名
- 2 近畿防犯協会連絡協議会表彰(近畿管区警察局長・近防連会長連名表彰)
  - (1) 防犯功労団体
    - ・ 大和郡山市防犯協議会 地域安全推進委員矢田連絡会
  - (2) 防犯功労者
    - ・ 向井儀次 氏(奈良市) 他 5名
- 3 奈良県防犯協会表彰
  - (1) 防犯功労団体(警察本部長・会長連名感謝状)
    - ・ 奈良地区防犯協議会 地域安全推進委西の京支部 他 4団体
  - (2) 防犯功労者(警察本部長・会長連名感謝状)
    - ・ 南 善嗣 氏(奈良市) 他 19名
  - (3) 協会功労学校(会長感謝状)
    - ・ 奈良県立 西の京高校 他 1校
  - (4) 協会功労団体(会長感謝状)
    - ・ 奈良学園大学(奈良市) 他 1団体
  - (5) 功労警察職員(会長感謝状)
    - ・ 奥野秀典 氏(郡山警察署) 他 4名

## 第5 防犯モデルマンション登録事業

- 1 書類審査適合証の交付
  - 書類審査適合証第30号
    - ・ 交付日: 令和5年2月2日
    - ・ 申請者: 近鉄不動産株式会社
    - ・ マンション名: 奈良県橿原市久米町862番地  
「(仮称) 橿原観光ホテル跡地プロジェクト新築工事」

## 第6 その他の事業

### 1 風俗営業管理者講習事業

奈良県警察本部長から事業委託を受け、風俗営業管理者講習を8回実施。受講管理者100名に対し、法令知識、犯罪抑止、及び少年の非行防止等について指導した。また、風俗営業の適正化を図るため、遵守事項等を内容とする小冊子「風俗営業のしおり」及び「風俗営業許可店」表示板を配布し、適正営業を要請した。

### 2 風俗営業所調査事業

奈良県警察本部長から事業委託を受け、風俗営業所の許可、及び構造設備の変更承認に伴う調査を27件実施し、警察本部主管課へ遅滞なく復命した。

### 3 自転車防犯登録事業

盗難自転車の早期被害回復、及び犯罪捜査活動などの警察の治安維持活動を支援するため、奈良県自転車防犯登録会から事業委託を受け、自転車防犯登録カードデータ46,567件（前年比-6,715件）をコンピュータ入力し、警察本部に提供した。

### 4 古物商許可標識等の発行取次事業

「古物商許可標識」の発行申込が174件、「行商従業者証」の発行申込が6件、「古物台帳」の発行申込が108件あり、それぞれ取扱事業所に発行を取り次いだ。

## 第7 法人管理等

### 1 役員変更登記手続き等

「公益財団法人奈良県防犯協会」へ移行して12年目を迎えた昨年度中、役員等が異動等に伴い辞任したことを受け、計3回にわたり定款が定める補充選任手続を経て役員の変更登記を行ったほか、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律並びに同施行令に定める手続きを遅滞なく行うなど、適正な法人管理に努めた。

### 2 事業財源の確保

役員各位の協力を得るなどして事業財源の確保に努めた結果、新規賛助会員13名（若しくは団体）から合計17万円の会費収入を新たに得た。

また、奈良県遊技業協同組合から100万円の高額寄付を受けたほか、鳥見地区自主防災防犯会から1万円の寄付を受けた。さらに、犯罪・非行防止支援自動販売機（寄付型自動販売機）16台を通して、総額374,875円の寄付を受けた。

### 3 理事会・評議員会の開催

- (1) 第1回定時理事会（5月24日 奈良ロイヤルホテル）
- (2) 定時評議員会（6月14日 奈良ロイヤルホテル）
- (3) 第2回定時理事会（2月28日 奈良ロイヤルホテル）

### 4 関係機関団体の会議等出席

- (1) 全国防犯協会連合会関係

- ・ 都道府県防犯協会専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営管理者研修（7／21 東京）
- ・ 全国防犯功労者・団体表彰伝達式（9／28 東京）
- (2) 近畿防犯協会連絡協議会関係
  - ・ 近防連定例会議（6／15 大阪市）
- (3) その他、防犯団体等関係
  - ・ 奈良県暴力団追放県民センター第1回理事会（5／19 農協会館）
  - ・ 奈良県コンビニエンスストア防犯対策協議会通常総会  
（6／1 奈良県経済倶楽部）
  - ・ 奈良県暴力団追放県民センター定時評議員会（6／9 農協会館）
  - ・ 奈良県少年補導員協会連合会定例総会（6／20 警察本部）
  - ・ 奈良県遊技業協同組合通常総会（6／21 ホテル日航奈良）
  - ・ 奈良県金融機関防犯協議会総会（7／26 警察本部）
  - ・ 国民スポーツ大会等奈良県準備委員会第2回総会  
（8／22 県コンベンションセンター）
  - ・ 奈良県暴力団追放県民センター第2回理事会、臨時評議員会  
（2／16 農協会館）
- 5 関係団体のキャンペーン参加協力
  - ・ 夏の防犯スクール（8／18 イオン高の原）
  - ・ 安全・安心の城下まちづくり市民大会（10／14 やまと郡山城ホール）
  - ・ 奈良県地域の交通安全・防犯サポート事業所懇談会  
（11／9 県レクチャーホール）
  - ・ 奈良地区警友会青色パトロール隊特別警戒出発式（11／17 奈良警察署）
  - ・ 六条防犯パトロール隊始動式（1／4 奈良市立六条小学校グラウンド）
  - ・ サイバーセキュリティカレッジin奈良（2／8 いかるがホール）